



社会福祉法人

熊本いのちの電話

KUMAMOTO INOCHINODENWA

通信 64号[事業報告] 令和元年7月



妊産婦の自殺について

社会福祉法人 熊本いのちの電話
理事長 福田 稠

「熊本いのちの電話」は1985年、自殺予防の電話相談として開設され、今年で34年目を迎えます。開設以来、24時間体制で、眠らぬダイヤルとして自殺予防の電話相談の活動を続けてまいりました。我が国は、世界的に見て自殺の多い国で、ロシアや韓国と並んで、自殺大国と云われています。原因については、アルコール、精神疾患、貧困等あげられていますが、必ずしも自殺の多い原因として十分に説明のつくものではありません。私は、産婦人科医で、日々、産婦人科の診療に携わっていますが、産婦人科医として最も恐れているものの一つに、妊産婦さんが、お産の前後に死亡する妊産婦死亡があります。医学が進歩する中、高度な医療を標準的に提供するために、診療のガイドラインも策定されていますが、妊産婦さんの死亡は毎年60人程度と、仲々減少しません。ただ驚くことは、一部の研究では、その他に、その2倍位、妊産婦さんの自殺があると云う事です。それを聞いて、全国の産婦人科医達はショックを受けました。又、テレビや新聞のマスコミで、小学生等の虐待死が頻繁に報道され胸を痛めておられる方も多いと思いますが、子供の虐待死の6割が乳児（一才未満）4割が新生児（0ヶ月児）と言われています。この加害者は半数が実母です。子供の虐待死は、毎年60人位であまり数に変化はありません。ただ、この中には、毎年30件程ある母子心中はふくまれていませんから、実数はもっと多いものと思われれます。

日本産科婦人科学会ではこの問題を深刻に受け止め、妊産婦さん達を、ただphysicalに診るだけではなく、Psychosocialに診る事の重要性を、即ち、妊産婦さんの身体的異常を診るだけでなく、精神的な異常、あるいは貧困や家庭内暴力等の云わば社会的問題についても、診ていくべきだと訴えています。児童福祉法で、産後育児に支援の必要な妊婦を「特定妊婦」と定義していますが、これらの妊産婦さんのために、私の病院では、臨床心理士や、ソーシャルワーカーが勤務しています。これらの人達は、妊産婦さんの相談、行政や、さらに学校や児童相談所との連携に多忙を極めています。

いのちの電話の電話相談の中にも、妊産婦さんの相談はあるものと思われれます。

行政や医療や福祉の専門家との連携を視野に入れた対応が求められています。電話相談では、それぞれのかけ手のかかえておられる問題や悩みを解決してあげる事は出来ませんが、そのお話を傾聴し、自殺を企図する方達に、一步踏みとどまって頂き、自らの生について、あるいは死について思いをはせて頂く事は出来ます。

今後、「熊本いのちの電話」では、相談員をはじめとする関係者一同、心をつにして、妊産婦さんはじめ、多くの方達の自殺予防の働きを続けていかなければと思っております。皆様の御支援、御協力よろしくお願い致します。

相談電話 096・353・4343

子どもの声に寄り添う

～彼らが、私たちに求めるもの～



寄稿者：田中 慎一郎氏

プロフィール：

19年間公立中学校に勤務。現在、熊本市教育委員会総合支援課 学校サポート班 指導主事。スリランカの日本人学校勤務経験もある。日本新聞協会認定NIEアドバイザー。九州ICT支援教育協議会理事。平成29年度文部科学大臣優秀教職員表彰受賞（生徒指導）。NHK「いじめをノックアウトスペシャル」や地元テレビ局にも出演。熊本日日新聞では「スマホの向こう側」を毎月第4木曜日連載中。

■子どもの声に寄り添う～彼らが、私たちに求めるもの～ 「先生、何もわかっていませんね」

これは、私が昔生徒に言われた言葉である。その子は、ある日カレシに振られた。「先生カレシに振られたんです…もう死にたい。」そう言った彼女に私は「何をバカなこと言ってるんだ。フラれたぐらいで大事な命を投げ出すなんて、二度と口にするんじゃないぞ。新しいカレシなんてすぐにできるから安心しろ。」と投げかけた。命を粗末にするなんてとんでもない。私は、命の大切さを真剣に彼女に伝えた。しかし、「もういいです。」と言うと彼女は私の前から去っていった。私は、自分のどこがいけなかったのか分からなかった。私は、彼女にどこがダメだったのか教えてもらった。

彼女は一人っ子。家では寂しい思いをすることも多かった。初めてのカレシ。自分の気持ちを素直に伝えられる初めての存在であった。しかし、中学生の恋愛。ちょっとしたすれ違いで別れは来る。そんなことは、彼女は十分にわかっていた。「先生は40年以上も生きてきたわけでしょ？だったら、フラれても、次に彼女ができた経験があるでしょ。私は、13年の人生しかないんですよ。その13年の中で、初めて自分が出せる人が出来たんです。その人がいなくなったんですよ。私にとっ

てそれは、すごく大きなことです。全てを失ったわけだから「死にたい」って思うんですよ。」確かにそうである。私は、今の40年の自分の経験をそのまま当てはめて相談にのっていた。「でも、俺はなんて君に声をかければよかったのだろう？」そう悩む私に、優しい彼女は教えてくれた。「先生、どうして「そっかぁー きっかけだったねー」って言わなかったんですか？」彼女は、私のアドバイスが欲しくて、フラれたことを伝えたのではなかった。一緒に悲しんで欲しかったのである。「そうだね、確かに俺も辛い経験あるなぁ…」そう言った私に彼女は「えっ 先生もそんなに辛い失恋あるんですか？」と聞いた。「当たり前だろ、学校に行くのが辛くて辛くて」そういう私に「先生は、それどうやって乗り越えたんですか？」と彼女は聞く。「なんだろう、忘れようとか何とか打ち込んでる間に、気がつけば忘れてた。」「へえ～私もそうやって前に進めるのかなぁ…」そう言う彼女に私は「きっとできるよ…」と告げた。「先生の話、また聞かせてくださいね！」そう言った彼女の顔には、いつもの笑顔が戻っていた。

■寄り添うということ

当たり前のことではあるが、教師としての私の前にはそれぞれの人生を抱えた子どもがいる。極論からいうと、その一つ一つは私にはわからない。想像することはできる。しかし、想像することと理解することとは違う。悩みを抱えた子どものその悩みを全て理解することは不可能だ。結局私たちは、一緒に悩み一緒に考えるということしかできないのである。人にはそれぞれの人生がある。私が歩んだ人生は、その中の一つに過ぎない。その経験が、全ての子どもたちの生き方のヒントになるかといえば、そうではない。寄り添うとは、子どもたちに対して謙虚になるということだ。昨年発表では、自殺者数は9年連続の減少となり、37年ぶりに2万1,000人を下回ったそうだ。国の自殺対策が功を奏した結果であろう。喜ばしいことである。しかし、その一方で若者の自殺は高止まりが続く。大人への自殺対策が、若者に全て当てはまるかと言えばそうではない。例えば、大人の自殺の原因の一つであるリストラ。原因がはっきりしていれば、そこに税金を使い支援を行い効果を出す。

例えば、風邪が「原因」となって、学校を欠席した子どもがいたとする。この子は、風邪が治れば学校に来る。しかし、風邪が「きっかけ」となって休んだ子は違う。この場合は、風邪が治っても学校には来ない。寄り添うべきところは、「きっかけ」ではなく「原因」の部

分である。大人と違って若者は、この原因が見えにくいとされている。よく言われるのが、若者の自殺は衝動的であるということ。例えば、目の前にコップが一つあるとする。そのコップいっぱい溜まった水。この水をストレスと考えるのであれば、最後の一滴は、なんでも良い。友だちとの喧嘩やカレシに振られたことでさえも最後のひとしずくになる。部活動で頑張っていたけどレギュラーを外されてしまった。テストの成績が悪かった。両親が喧嘩ばかりしている。その度に、水は溜まっていく。種類は、大人と違って様々。故に、何かに特化した大人の自殺対策では、若者の自殺は減らないのである。最後のひとしずくはなんでも良いのであるから、その一滴を落とさないようにする方法では防げない。カレシにフラれない世界の実現など無理である。それよりも、コップの水を掻き出す方が、若者の自殺対策には有効ではなかろうか。

■熊本市SNS悩み相談「ほっとLINE」から見えたこと

昨年度、熊本市教育委員会ではLINEを用いた中高生の悩み相談を行った。コップに溜まった水を汲み出すことを試みたのである。悩みに大きいも小さいもない。悩みの種類の分類なんて必要ない。その心のモヤモヤをそのままぶつけてくれれば良い。そんな思いで実施した。実施後に行ったアンケートには、中高生からの多くの評価の声が寄せられた。評価のポイントは大きく分けると3つ。一つ目は、スマホの中のアプリなので、いつもそばにいてくれる存在であったということ、二つ目は、面談や電話と違って自分のペースで相談できるということ、そして三つ目に、小さな悩みでも話を聞いてくれるということだった。

一見これは、彼らがSNSの良さを語ったかのように見えるが、そうではない。彼らは、常にそばにいてくれる存在が欲しくて、さらにその人に「そんな小さなこと」と一蹴されずに、自分のペースで話ができる場所が欲しかったのである。もしも、面と向かった世界にこれらが無ければ、それが存在するインターネットの世界に彼らは行く。子どもたちにインターネットとの付き合い方を考えさせる前に、私たち大人がすべきことがある。家庭や学校や地域の中に、彼らが求めたこの3つを取り戻さなければならない。問題は、子どもの中ではなく私たち大人の中にあつたのだ。

■子どもたちから揉め事を奪わない

人が集まれば、必ずそこに揉め事の種ができる。誰でも自己主張はしたい。主張をしすぎるのもどうかと思うが、黙って我慢しておくことも良いとは思わない。私たち人間には、嫉妬や妬みという感情も存在する。い

わゆる胸がチクチクする状態。このような不快感情が生じること自体は悪いことでは無い。揉め事の種になるからと言って、それを押し込めようとすると別の問題が起こってくる。感情は湧き出てくるものである。胸に抱いた感情を無かったことにするのはなく、胸の中に留めておける力を身に付けたい。言ってみれば、「折り合い」をつける力。それを手に入れる場が、子どもたちの世界から奪われつつあることを私は危惧する。

折り合いをつける力は、教室の中では揉め事から学ぶ。国のいじめ追跡調査には、クラスの9割がいじめ被害を経験し、9割がいじめ加害を経験したということが記されている。つまり、クラスのほとんどの子どもが、いじめたこともありいじめられたこともあるのである。世の中は、いじめを加害者と被害者の単純な2層構造に見て、加害者を排除すればいじめがなくなると思っているところがある。もちろん、重篤ないじめ行為は断罪すべきである。しかし、ちょっとした感情のもつれからくる揉め事は、傷つけた子どもを排除するやり方では彼らを不幸にする。「僕は学校で、人と関わらない方が楽であるということを学びました。一度喧嘩したら二度と仲直りができないんです。だって、大人が出てきますから、その大人の怒りに気を使わなくてはならないんです。何もしない方が、何も起こらないし人を傷つけることもありません。」私は、子どもから揉め事を奪ってしまった大人の責任を感じる。彼らはこうも語ってくれた。「ネット友(インターネット上の友だち)はたくさんいます。だって、顔も見たことないから、言いたいことが言えるんです。面と向かった世界では、喧嘩したら面倒になるけど、ネットはその友たちを削除してブロックすれば解決しますから。」友だちを削除する。そんなことを彼らにさせているのは、私たち大人なのではなかろうか。彼らの声に寄り添うと、彼らのSOSが見えてくる。



平成30年熊本いのちの電話の相談状況

1. 総件数の状況

表1 平成30年年代別男女別相談件数

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計	合計
全体件数	男性	288	554	1,091	1,608	1,086	603	67	315	5,612	9,881
	女性	38	346	756	964	1,253	689	133	90	4,269	
自殺傾向件数	男性	9	43	121	206	129	128	18	9	663	1,271
	女性	7	77	117	145	183	64	13	2	608	
自殺傾向割合(%)	男性	3.1	7.8	11.1	12.8	11.9	21.2	26.9	2.9	11.8	12.9
	女性	18.4	22.3	15.5	15.0	14.6	9.3	9.8	2.2	14.2	

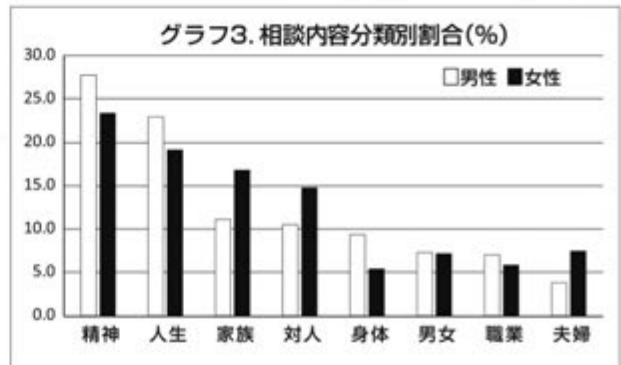
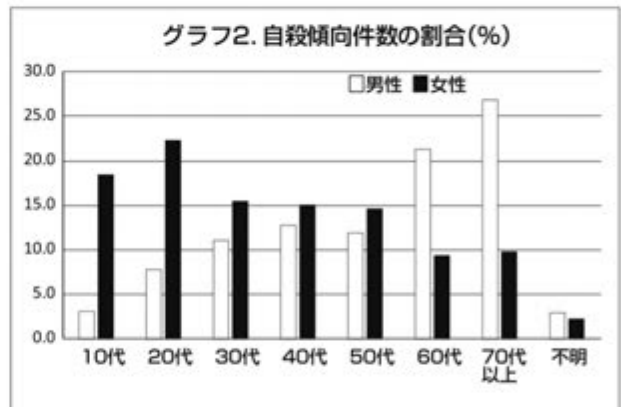
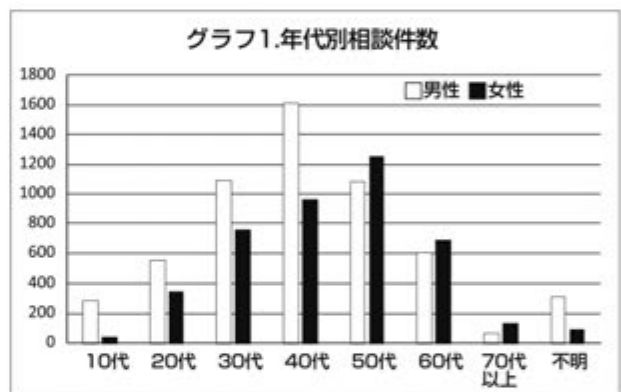
表2 電話相談件数の前年との対比

	合計			自殺傾向件数		自殺傾向率(%)		
	平成30年	平成29年	増減率(%)	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年	増減率
合計	9,981	11,581	-13.8	1,271	1,002	12.9	8.7	4.2
男性	5,612	6,264	-10.4	663	415	11.8	6.6	5.2
女性	4,269	5,317	-19.7	608	587	14.2	11.0	3.2

平成30年の熊本いのちの電話で受信した相談件数は9,881件、そのうち自殺傾向件数が1,271件で自殺傾向率は12.9%となっている。(表1、2)

前年に比べ件数は13.8%の減、自殺傾向率は4.2%の増となっている。相談件数の減はニーズが減少したのではなく、主に受信態勢が影響したものであり、相談員数が増加すれば、相談件数増が期待できるものである。

自殺傾向割合は前年8.7%に対して30年は12.9%で、前年に比べ4.2%増加しており、特に男性からの自殺傾向件数の割合が前年の6.6%から11.8%と、ほぼ倍増したことは注目すべきことである。



2. 年代別・男女別の状況

グラフ1に示すとおり、年代別相談件数の男性のピークは40代、女性は50代で、10歳ずれている。特に若年層（10代、20代）では女性からの相談件数が男性と比べて少ない傾向がある。

グラフ2では、年代別・男女別自殺傾向件数の割合を示している。若年層では女性からの相談件数自体は少ないが、自殺傾向件数の割合は男性に比べてはるかに大きく、若年層の女性からの相談は深刻なものが多いことがわかる。

このことから若年層、特に女性からの自殺傾向の相談に的確に対応できるようカウンセリング能力が求められている。

3. 相談内容分類別状況

相談内容分類で主要8項目の男女別の件数の割合を高い順に並べたものがグラフ3である。精神、人生に関する相談は男女ともに多く、やや男性の割合が高い。家族、対人、夫婦については男性より女性の割合が高く、逆に、身体、職業については男性の割合が多く、男女問題については同率となっている。この傾向は例年ほぼ同じである。

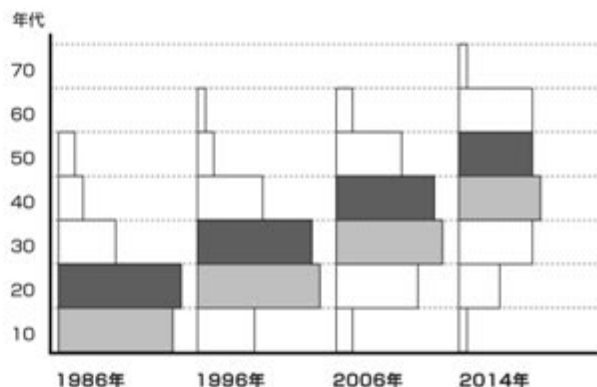
4. コミュニケーション系メディアの利用状況と電話相談利用者の年齢分布

先の通信61号(2018年7月号)で、熊本いのちの電話の電話相談の年代分布の推移を示した(グラフ4)。1986年から10年が経過する毎に10歳ずつ利用者のピーク年齢が移動して、10代、20代で電話相談を始めた利用者群が時代とともに移動しているように見える。グラフ5、グラフ6に2012年と2017年の電話相談件数の年代分布を示す。この傾向は変わらないように見える。

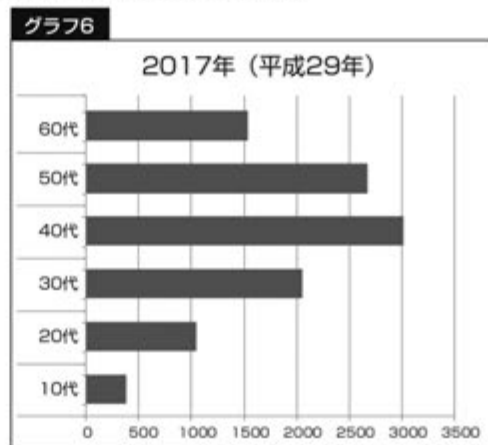
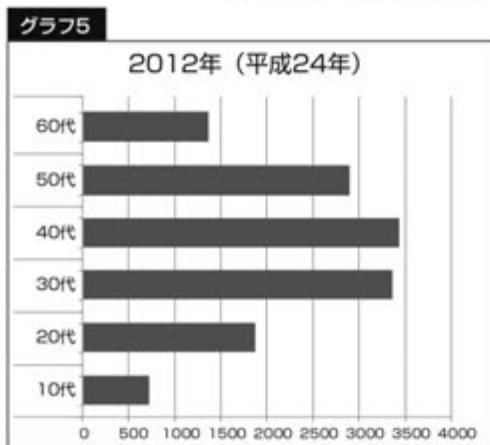
この状況と総務省が出した「コミュニケーション系メディアの平均利用時間」から再考したい。ここ数年、厚生労働省の自殺白書の中で全体的な自殺者数が減少しながら、若者の自殺者数が減っていないという指摘がある。私たち「熊本いのちの電話」でも若い人たちに何とか電話で繋がってほしいと思っているが、2012年と2017年におけるコミュニケーション系メディアの利用状況は、年代毎の使い方がグラフ7と8に示される傾向が明らかになっている。

そこから、「相談に使いたいメディアは年代によって使い分けており、電話=40代以上、メール=20~30代、SNS=10~20代」ではないかと推測される。私たち「熊本いのちの電話」でも今年度から本格的にネット相談=メール相談事業を開始する。まだまだ若年層へのアプローチについて検討を継続する必要がある。

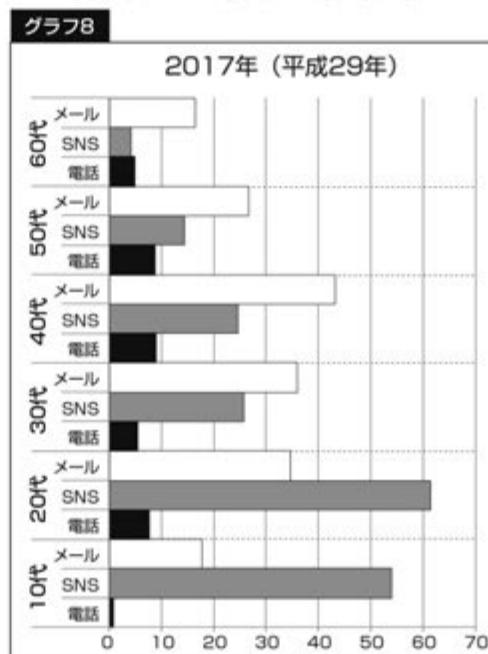
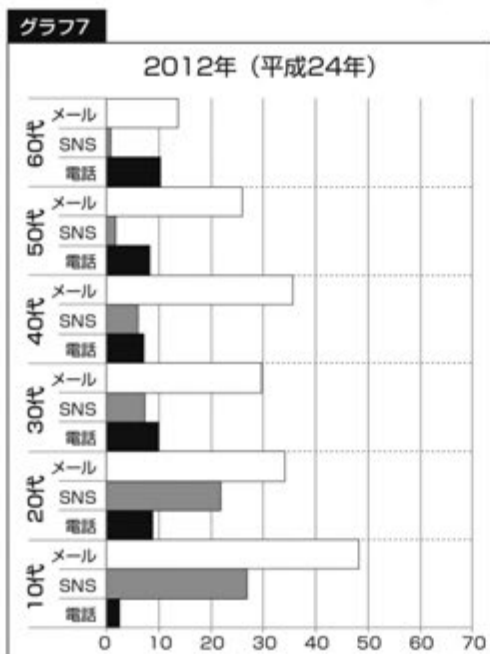
グラフ4 電話相談年代分布の推移 (年代不明除く)



電話相談利用件数の年齢分布 (単位: 件/年)



コミュニケーション系メディアの利用状況 (単位: 分/平日)



参考:総務省「平成24年 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」、「平成29年 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」から、通話手段として「固定通話」、「携帯通話」として集計した。
杉原保史、宮田智基著「SNSカウンセリング入門」北王子書房発行

社会福祉法人 熊本いのちの電話

平成30年度(2018年度) 事業報告

1. 電話相談活動

(1) 熊本いのちの電話

総受信件数 9,881件 (総受信時間 5,155時間)

* 詳細は4頁「電話相談の概況」を参照のこと

(2) フリーダイヤル自殺予防いのちの電話

毎月10日 午前8時～24時間 (受信件数 1,271件)

(3) 熊本地震いのちの電話(フリーダイヤル)

(件数は前項(1)に含む)

※2019年(平成31年)3月31日に終了。

(4) ふくしま寄り添いフリーダイヤル

平成31年1月11日(金) 10:00～13:00担当 (受信件数 1件)

(5) インターネット相談: 開始準備



電話相談活動



全体研修風景

2. 研修活動

(1) 第35期 電話相談員養成基礎講座

場所 熊本YMCA中央センター

①開講式 5月8日(火)

②前期(基礎講座) 5月8日～9月11日

③後期(養成講座) 10月2日～平成31年3月26日

④修了式 平成31年2月26日(火)

(2) 第34期生 スーパービジョン(2年目研修)

期間 4月～平成31年3月

人数 6名(男性2名、女性4名)

(3) 継続研修

各曜日班(7班編成) 毎月1回実施

(4) 全体研修

①6月17日(日) 熊本県総合福祉センター(参加:76名)

テーマ: なぜ死んではいけないのか～相談者の問いから～

講師: 吉尾天声氏(浄玄寺住職・臨床宗教師)

②11月10日(土) 熊本県総合福祉センター(参加:53名)

テーマ: 当事者の語りを聴く

講師: 平川泰士・斎藤朋弘

(5) 第43回 日本自殺予防シンポジウム

9月23日(日) かしはら万葉ホール(奈良県)(参加:2名)

基調講演: 未来を生き抜く力を育むために

講師: 阪中順子氏

(加古川市教育委員会育成課 教育相談センター)

(6) 研修指導検討会(研修委員・研修リーダー合同)

1回 11月4日(日) 北九州いのちの電話センター研修室

2回 平成31年3月23日(土) KIND会館会議室



認定式



認定お祝いマジックショー



北九州いのちの電話との指導者研修

3. 公開事業・啓発活動

(1) 第16回自殺予防いのちの電話公開講演会

厚生労働省補助事業 熊本市国際交流会館

平成31年2月3日(日) (来場者：112名)

テーマ：「若者たちはなぜ自殺を考えるのか

～座間事件に見る「死にたい」若者たち～

基調講演：講師 渋谷哲也氏 (フリーライター)

シンポジウム：子ども・若者のいのちを守ろう

～繋ごう心とこころ、育もう若いいのち～

(2) 相談員養成講座説明会

平成31年3月29、30、31日(金・土・日) 熊本市民会館会議室

(3) チャリティ公演

8月19日(日) くまもと森都心プラザホール (来場者：340名)

テーマ 「翔べ! ひこっ子 夏まつり」

(4) 部外広報誌「熊本のいのちの電話・通信」を発行

4月(60号)、7月(61号)、1月(62号) 各1,000部発行

(5) 内部広報誌「りんりん」を発行

7月(第47号)、11月(第48号)、3月(第49号)

4. 運営活動

(1) 第33回開局記念会&第33期電話相談員認定式

6月17日 熊本県総合福祉センター

①表彰

貢献賞表彰 45名

達成時間表彰

500時間達成 7名 1,000時間達成 1名

1,500時間達成 3名 2,500時間達成 1名

相談員活動勤続10年

②認定 第33期生 9名

(2) 相談員の更新認定

平成31年3月23日(土) 更新判定会開催

更新認定者 112名

(3) 第36期養成講座募集 15名

(4) 養成講座事前説明会 18名

(5) 資金活動 募金式自販機の拡大

5. 各種会議

(1) 理事・評議員会

5月21日(月) 第58回理事会

平成29年度事業報告・決算報告／

経理規定の改定について／評議員会の日程について

6月28日(木) 第49回評議員会

平成29年度事業報告・決算報告／

経理規定の改定について

平成31年3月22日(木) 第59回理事会

平成31年度事業計画(案)・予算(案)について／

理事長業務執行状況報告

(2) 日本いのちの電話連盟

5月25日(金)～26日(土) 東京

① 定時社員総会

② 全国事務局長研修



養成講座修了式



阿蘇一泊研修風景



公開講演会模様



秋の全体研修風景



深夜帯研修会風景

表1 資金収支計算書(要約)

(自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)

(単位:円)

勘定科目	予算	決算	差異
事業活動による収支			
事業活動収入	8,095,500	10,090,526	△ 1,995,026
事業活動支出	8,063,000	8,793,234	△ 730,234
事業活動資金収支差額	32,500	1,297,292	△ 1,264,792
設備整備等による収支			
設備整備等収入	0	0	0
設備施設整備等支出	0	0	0
設備整備等資金収支差額	0	0	0
その他の活動による収支			
その他の活動収入	0	0	0
その他の活動支出	396,000	396,000	0
その他の活動資金収支差額	△ 396,000	△ 396,000	0
予備費支出			
当期資金収支差額合計	△ 363,500	901,292	△ 1,264,792
前期末支払資金残高	16,763,391	16,763,391	0
当期末支払資金残高	16,399,891	17,664,683	△ 1,264,792

表2 事業活動計算書(決算および予算書)

平成30年度決算 (自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日
平成31年度予算 (自)平成31年4月1日 (至)令和 2年3月31日

(単位:円)

勘定科目	30年度決算	31年度予算
サービス活動増減の部		
維持会費収益	2,396,064	2,190,000
賛助会費収益	1,915,300	1,450,000
講習受講料収益	755,000	882,000
事業収益	1,029,833	1,000,000
共同募金会収益	0	150,000
善意銀行収益	60,000	60,000
補助金収益	2,799,000	2,900,000
雑収益	1,132,286	1,122,000
サービス活動収益計	10,087,483	9,754,000
費用		
人件費	2,984,464	3,090,000
事業費	2,244,355	2,027,000
事務費	3,564,415	3,633,000
減価償却費	1,649,668	1,267,300
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 1,064,320	△ 709,600
サービス活動費用計	9,378,582	9,307,700
サービス活動増減差額	708,901	446,300
サービス活動外増減の部		
収益 受取利息配当金収益	3,043	4,000
費用 支払利息	0	0
サービス活動外増減差額	3,043	4,000
経常増減差額	711,944	450,300
特別増減の部		
収益 設備整備等補助金収益	0	0
費用 国庫補助金等特別積立金積立額	0	0
費用 固定資産処分損	0	0
特別増減差額	0	0
当期活動増減差額	711,944	446,300
繰越活動増減差額の部		
前期繰越活動増減差額	20,018,835	20,730,779
当期末繰越活動増減差額	20,730,779	21,177,079
基本金取崩額	0	0
次期繰越活動増減差額	20,730,779	21,177,079

熊本のいのちの電話

平成30年度 決算報告
平成31年度 予算報告

平成31年3月22日に31年度予算が
理事会、同年6月20日に30年度決算
が、評議員会におきまして各々承認
されました。

詳細は、表1、表2、および表3の
とおりです。

表3 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産			
流動資産	18,487,200	17,464,718	1,022,482
現金・預金	18,383,030	17,220,092	1,162,938
貯蔵品	0	0	0
有価証券	0	0	0
立替金	0	5,856	△ 5,856
前払費用	36,050	36,750	△ 700
仮払金	65,120	89,020	△ 23,900
未取補助金	0	0	0
未取金	3,000	113,000	△ 110,000
固定資産			
固定資産	35,120,264	36,373,932	△ 1,253,668
基本財産	22,344,000	22,740,000	△ 396,000
土地	7,000,000	7,000,000	0
建物	14,344,000	14,740,000	△ 396,000
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000	0
その他の固定資産	12,776,264	13,633,932	△ 857,668
器具備品	2,188,386	3,327,358	△ 1,138,972
ソフトウェア	391,878	506,574	△ 114,696
敷金	40,000	40,000	0
建物減価償却引当特定預金	7,656,000	7,260,000	396,000
減価償却引当特定預金	2,500,000	2,500,000	0
資産の部合計	53,607,464	53,838,650	△ 231,186

負債の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動負債			
流動負債	822,517	701,327	121,190
預り金	275,004	271,409	3,595
前受受講料	84,000	36,000	48,000
未払金	463,513	393,918	69,595
固定負債	0	0	0
負債の部合計	822,517	701,327	121,190
純資産の部			
純資産	52,784,947	53,137,323	△ 352,376
基本金	30,000,000	30,000,000	0
国庫補助金等特別積立金	2,054,168	3,118,488	△ 1,064,320
次期繰越活動増減差額	20,730,779	20,018,835	711,944
(うち当期活動増減差額)	(711,944)	(1,968,450)	△ 1,256,506
純資産の部合計	52,784,947	53,137,323	△ 352,376
負債及び純資産の部合計	53,607,464	53,838,650	△ 231,186

(脚注)減価償却費の累計額 14,493,252円

社会福祉法人 熊本いのちの電話

平成31年度(2019年度) 事業計画

事業方針

1. 電話相談体制の維持、向上

- (1) 養成講座受講生募集活動の強化 (2) 空き枠対策の検討 (3) モニタリング事業の実施

2. 若年層自殺予防の推進 (1) インターネット相談活動の開始 (2) 若年層への自殺予防啓発活動

3. 財政基盤の強化 (1) 資金サポーターの拡大 (2) チャリティ事業はじめ資金確保手段の拡大

4. 広報活動の展開 (1) マスメディア、自治体への積極的な広報活動 (2) 部内向け、部外向け広報の充実

1. 電話相談活動

(1) 熊本いのちの電話

- ・ 空き枠対策の検討
- ・ 深夜帯自己目標達成方式の周知と推進

(2) 自殺予防いのちの電話(フリーダイヤル)への参画

毎月10日 午前8時～24時間

(3) ふくしま寄り添いフリーダイヤルへの協力

(4) モニタリング事業の実施

(5) ナビダイヤル及び非通知規制の導入の可否について検討

2. 研修活動

(1) 第36期 電話相談員養成基礎講座

場所 熊本YMCA中央センター

①開講式 令和元年5月7日(火)

②前期(公開講座) 5月7日～9月17日 19回

③後期(養成講座) 10月1日～3月25日 20回

④修了式 令和2年2月25日(火)

(2) 第35期生 スーパービジョン(2年目研修)

期間 平成31年4月～令和2年3月

人数 17名(男性6名・女性11名)

(3) 継続研修 各曜日班(7班編成) 毎月1回実施

(4) 全体研修 ①6月30日(日) 熊本県総合福祉センター

企画・実施担当: 研修委員会

②11月23日(土) 熊本県総合福祉センター

企画・実施担当: 研修委員会

(5) 第44回日本自殺予防シンポジウム

9月8日(日) 愛知県

(6) 全国研修会 10月24日 岡山市

3. 公開事業・啓発活動

(1) チャリティ公演

8月17日(土)

くまもと森都心プラザホール

テーマ「華の熊本 城下町めぐり」

監修: 中村花誠 出演: 花童他

(2) 第17回自殺予防いのちの電話公開講演会 (厚生労働省補助事業)

令和2年2月 予定 講師 未定

(3) ボランティア週間バザー

令和元年11月開催予定 サンロード広場

(4) 部外広報誌「熊本いのちの電話・通信」を発行 年3回発行予定(4月、7月、1月)

(5) 内部広報誌「りんりん」の発行

年間3回発行予定(3月、7月、11月)

4. 運営活動

(1) 開局34年記念会&第34期電話相談員認定式

令和元年6月30日(日) 熊本県総合福祉センター

(2) 相談員の更新認定 令和2年3月

(3) 第37期養成講座募集 令和2年3月～4月

(4) 養成講座事前説明会の開催

(5) 資金活動 サポート会員の拡大

募金式自販機の拡大

黄色いレシートキャンペーン

(6) インターネット相談の開始

5. 各種会議

(1) 理事・評議員会

令和元年5月16日(木) 第60回理事会

平成30年度事業報告・決算報告

令和元年6月20日(木) 第50回評議員会

平成30年度事業報告・決算報告、理事・監事の選任

令和2年3月下旬 第62回理事会

令和2年度事業計画・予算

(2) 日本いのちの電話連盟総会、全国事務局長会議

令和元年5月24日(金)～25日(土) 東京

(3) 九州ブロック事務局担当者会議

開催地 鹿児島 時期未定

熊本いのちの電話 感謝報告

ご支援をいただきありがとうございました。

1.平成30年度 ご寄付をお寄せくださった方々

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(1) 法人・団体の部

(敬称略・順不同)

(株)NTF 寺地 弘幸 NTT西日本 熊本支店 前田 仁 YMCAチャリティゴルフ会 (医)愛育会 福田病院 福田 桐 青山法律事務所 青山 定聖 (株)朝倉製作所 朝倉 吉治 (株)あつまるホールディングス 島田 俊郎 一新校区自治協議会 毛利 秀士 出田実業(株) 出田敬太郎 出田法律事務所 出田 孝一 インマヌエル熊本キリスト教会 (株)うしじま酒店 牛嶋 崇 (名)大橋時計店 大橋 善治 大村法律事務所 大村 豊 オフィス ムジカ 西嶋 公一 (株)亀井ランヂ 亀井 明徳 (株)菊池ランドホテル (株)木村 木村 光男 九州電機工業(株) 福岡 邦博 熊本YMCA 岡 成也 熊本YWCA 熊本医療ガス(株) 白瀬貴美子 熊本学園大学 幸田 亮一 熊本企業開発(株)	熊本県儀式共済(株) 畑尾 芳光 熊本白川教会 (公社)熊本善意銀行 熊本第一信用金庫 豊住 賢一 熊本トヨタ自動車(株) 興繩 義昭 (株)熊本日日新聞社 河村邦比児 (株)熊本ホテルキャッスル 斎藤 隆士 (医)孔子会 末永 正義 光尊寺 齊藤 真 (株)コスギ不動産 小杉 康之 さいか総合法律事務所 雑賀 庸泰 在宅・よろず相談クリニック 俵 哲 (株)シアーズホーム 丸本 文紀 (社)福)泗水福祉会 泗水苑 齋藤 禎子 (株)SYSKEN 及び従業員一同 (株)システムニッソウ 門岡 慎治 (医)至福会 添島歯科医院 添島 義樹 (医)寿量会 熊本機能病院 米満弘一郎 新産住拓(株) 小山 英文	瑞鷹(株) 前田 信廣 西部電気工業(株) 熊本 敏彦 (一社)生命保険協会熊本県協会 セベ産科用品(株) 坪田 隆二 大熊本証券(株) 出田 信行 (弁)大知 田中法律事務所 田中 俊夫 ダイニング和YA 竹下清税理士事務所 竹下 清 千歳公認会計士事務所 千歳 睦男 (株)鶴屋百貨店 久我 彰登 東亜シルク(株) 長野 和男 東京エレクトロン九州(株)及び従業員一同 (株)トウヤ 東家 恭一 遠山歯科医院 遠山 啓介 中村公認会計士税理士事務所 中村 孝彦 西田総合保険(有) 西田 和弘 日本基督教団 熊本草葉町教会 日本基督教団 錦ヶ丘教会 川島 直道 日本聖公会 鹿児島復活協会 日本福音ルーテル 室園教会 女性会 (医)野尻会 熊本泌尿器科病院 野尻 明弘 (株)肥後銀行 笠原 慶久	不二高圧コンクリート(株) 岸川健太郎 (株)古荘本店 古荘 貴敏 (宗)法光寺 沖田 芳悖 まつばセレディースクリニック 村本 順一 美里縫製(株) (株)みどり印刷社 鬼塚 雅洋 (株)みどりや 東 静一 宮川輝之法律事務所 宮川 輝之 (株)三宅保険総合企画 三宅 聡 (有)都環境開発サービスセンター 康 英一 メガネの大宝堂 布田 昭 元田社会保険労務士事務所 元田 克秋 森本法律事務所 森本 耕司 森山義文法律事務所 森山 義文 ゆうかり調剤薬局 高井 正照 有斐総合法律事務所 井上 陽介 匿名3件
--	--	---	---

(2) 個人の部

(敬称略・順不同)

青木 悟 青木 孝子 赤星 敦 赤星 寛子 荒木 孝憲 荒木 伸夫 有馬 修二 伊久美寛志 池田 菖子 石川エミ子 イチノカズエ 稲尾 貞臣 井上 新	猪本 耀子 今村眞佐子 上島 澄雄 上原 仁朗 上村みどり 宇敷 辰男 内田 直美 江崎 啓子 江崎 弘子 悦 正治 及川 陽 大井 和美 大我 京子	小笠原嘉祐 緒方 憲男 岡田 洋一 岡部 美香 小澤 徳子 小田部久美子 小嶺 正子 小山 和代 加塩 弘己 片岡 隆治 片桐 清志 加藤 敏行 門脇 愛子	金子 義勝 神谷 一恵 神谷 尚孝 河北 敏夫 清永サチ子 清野 健 久保山嘉男 小出 伸介 鴻江友紀子 郡山 和代 小路島正臣 後藤 秀昭 齋伯 哲	島崎 和子 鈴木 睦美 高木 容子 高杉ノリ子 武田 哲夫 田浦 記子 田中 信義 田中 征夫 田中 裕子 依 恭子 長倉 瑛子 中野慎一郎 中村 静代	中村 直美 西井くに子 野田 幸孝 野村 清人 羽江 忠彦 濱田 宏子 林 實信 林 修子 葉山 武志 原 史章 原園 祐子 久野 啓介 日野 充裕	開 由美子 廣石 妙子 広瀬美貴子 藤井 輝彰 古荘 信次 堀 浩善 本田 節子 前原八寿之 牧 勝美 牧 睦美 松尾 修 松下 澄子 松本千鶴子	三浦 康平 水谷 幸子 光永 尚生 三原 種昭 宮崎 拓郎 宮崎美緒子 宮本 進夫 宮脇ヤス子 持永瑞恵、摩子 森崎賀久子 森村 陽子 山内 武 山内 稔	山道 キヨノ 山村 唯夫 山本 了 笠 和美 和田 全浩 渡辺 和文 渡辺 誠二 匿名18名
---	---	--	---	--	--	---	---	---

このほか、切手、お茶、コーヒー、お菓子、バザー用品等のご提供がありました。心から感謝申し上げます。



マックスバリュ田崎店 様(左)

熊本ロータリークラブ 様(左)

イオン熊本中央店 様(左)

2.平成31年4月1日～令和元年6月15日 ご寄付をお寄せくださった方々

(1)法人・団体の部

(敬称略・順不同)

(株)NTF YMCAチャリティゴルフ会 青山法律事務所 (株)朝倉製作所 (株)あつまるホールディングス 一新校区自治協議会 出田実業(株) (株)うしじま酒店 (名)大橋時計店 オフィス ムジカ 北里綜合法律事務所 寺地 弘幸 青山 定聖 朝倉 吉治 島田 俊郎 毛利 秀士 出田敬太郎 牛嶋 崇 大橋 善治 西嶋 公一 北里美知子	(株)木村 九州電機工業(株) 熊本YMCA 熊本医療ガス(株) 熊本ロータリークラブ 香覚寺 (有)コムヨシモト (社)福)酒水福祉会 (株)シスニック (医)寿量会 (宗)誠光寺 (一社)生命保険協会熊本県協会 木村 光男 福岡 邦博 岡 成也 白瀬貴美子 小山 一行 吉本 寛治 酒水苑 齋藤 禎子 古澤 和行 熊本機能病院 米満 弘一郎	ソニー生命保険(株) (弁)大知 田中法律事務所 竹下清税理士事務所 (株)たしろ住設 千歳公認会計士事務所 中村公認会計士税理士事務所 (株)古荘本店 三原労務管理事務所 緒方 晃成 田中 俊夫 竹下 清 田代 貴久 千歳 睦男 中村 孝彦 古荘 貴敏 三原 裕樹	宮川輝之法律事務所 明正電設(株) 元田社会保険労務士事務所 森本法律事務所 ゆうかり調剤薬局 (医)徳祐会 有斐総合法律事務所 宮川 輝之 花田 龍美 元田 克秋 森本 耕司 高井 正照 やまさき歯科医院 井上 陽介 匿名3件
--	--	--	--

(2)個人の部

(敬称略・順不同)

石川エミ子 稲尾 貞臣 井上 新 猪本 耀子 今村眞佐子	岩浅 眞司 岩永 道子 悦 正治 及川 陽 大井 和美	緒方 憲男 岡本 洋子 加川やよい 加塩 弘己 加藤 敏行	金子 義勝 神谷 尚孝 清水サチ子 久保山嘉男 郡山 和代	小澄 康彦 鈴木 睦美 高木 容子 田口 和子 武田 哲夫	田中 征夫 富田 豊喜 中村 静代 西井くに子 野田 幸孝	林 修子 原 史章 平方 英子 古荘 信次 前原八寿之	森村 陽子 森崎賀久子 山本 了 和田 全浩 渡辺 和文	匿名1名
--	---	---	---	---	---	---	--	------

3.募金式自動販売機設置にご協力いただいている方々

(令和元年5月末日現在)

(敬称略・順不同)

(医)愛育会 福田病院 APパーク桜町 KMバイオロジクス(株) 菊陽レディースクリニック 北熊本乗馬クラブ (株)九電工	九州電機工業(株) 九州ルーテル学院大学 (医)寿量会 熊本機能病院 熊本県医師会館 熊本市水の科学館 (医)孔子会 孔子の里	金剛(株) (株)SYSKEN 崇城大学 慶賓館 建吉観光土地(株) (株)建吉組 (医)寺尾会 寺尾病院	(医)聖孝会 中村整形外科 和みほいくえん 西日本電材(株) (特非)花織部 松尾建設(株) ルーテル学院高等学校
--	--	--	--

サントリービバレッジサービス(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)の2社のご協力を頂き、自販機によるご寄付の仕組みを準備しております。各自販機設置者様のご支援と上記2社のご協力に感謝申し上げます。

イオン 幸せの黄色いレシート キャンペーン

毎月11日に行われるキャンペーン。イオン熊本中央店とマックスバリュ田崎店で参加しております。お買い物の際には「熊本のいのちの電話」のボックスへ黄色いレシートをご投函頂きますようお願い致します。

<マックスバリュ田崎店>

2017年3月～2018年2月のキャンペーンで、熊本のいのちの電話あてにご投函いただいたレシートの総額は1,606,878円。その1%の16,100円相当のイオンギフトカードを頂戴しました。(3/13)

<イオン熊本中央店>

2018年4月～2019年2月のキャンペーンで、熊本のいのちの電話あてにご投函いただいたレシートの総額は4,444,842円。その1%の44,400円相当のイオンギフトカードを頂戴しました。(4/21)

レシートをご投函下さった皆様、イオン熊本中央店様、マックスバリュ田崎店様に感謝申し上げます。

肥後銀行、熊本銀行、熊本第一信用金庫のご厚意で、寄附金お振込みの際の振込手数料を免除いただいております。

これにより、ご寄付の全額が熊本のいのちの電話の活動を支える資金となります。(専用の振込用紙をご利用いただくと、この免除の対象となります。)

各金融機関のご厚意に対しあらためて感謝申し上げます。

郵便局の手数料値上げ等もあり、上記の専用振込用紙を是非ご利用下さいませようお願い致します。

遺産等の一部で 熊本のいのちの電話へご支援を!

熊本のいのちの電話では、以下の手続きによるご寄付もお願いしております。自殺予防活動へのご支援をお願い致します。

- ①死因贈与による寄付
- ②遺贈による寄付
- ③相続した財産を寄付する

詳しくは、熊本のいのちの電話のホームページをご覧ください。か事務局長までお問合せください。(TEL:096-354-4343)

①死因贈与による寄付のお申込を1件頂戴し手続きを完了致しました。心より感謝申し上げます。

第34回開局記念会 及び 第34期電話相談員認定式

2019年6月30日（日）熊本県総合福祉センターに於いて、80名の参加者の中第34回開局記念会及び認定式が執り行われました。

開局記念会では、500時間、1000時間、3000時間担当者と相談員勤続10年、20年の表彰が有り、これまでの継続された活動と、これからの活躍を願う感謝の言葉が理事長より述べられました。

その後、第34期生認定式が執り行われ、6名の認定者に認定証が渡されました。認定者の代表挨拶では、「転勤や喜びごとで当初より人数は減ったが、YMCAでの養成講座で人の価値観の違いや多様性を肌で感じ、自分の人生を振り返る機会になった。阿蘇での一泊研修では、隠し芸“ドジョウすくい”を一致団結して作り上げ、ここでしか味わえない絆に力を得て、相談活動を続けて行きたい」と決意を表明されました。



全体研修会



相談担当3000時間表彰



お祝い会

認定者の声


「いのちの電話」は学びの場所。最近、自分以外の顔認証ができないほど、母の認知が進み、排泄物処理など日々手がかかるようになってきました。母の介護費用を補うため、この春から始めた週五日のバイトと、他界した父から引き継いだ農業との共存は、精神的にも余裕がなくなり、次第にいのちの電話を継続することは困難と思うようになってきました。そんな折、いのちの電話当番では毎回、掛け手の強さに驚かされます。自分であればここまで前向きに考えることができるだろうか。共感すればするほど心の痛みが伝わってきます。置かれた環境下で前向きに必死に生きようとする掛け手の姿を想像すると、つい自分と比べてしまいます。当番が済むと癒やされている自分があり、もう少し続けようかなという気持ちになっています。

S・K

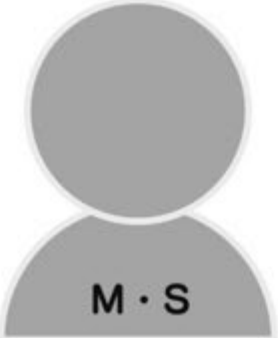
思えば、「いのちの電話」について殆ど知らない状態で、養成講座を受け始めた二年前。そして、プロフェッショナルボランティアとして責任の重さを感じ、不安を抱え臨んだ一年間の電話相談実践研修。最初は、ドキドキしてなかなかスイッチをオンにすることができなかった。その後、電話を受ける際、「はい、熊本いのちの電話です」の第一声は、掛け手との繋がり第一歩と意識してきた。掛け手の状況を想像しながら傾聴し、生きづらさに共感し、思いに寄り添うことができるような対応を心がけ常に模索している。中には、こちらの心が痛みそうになる電話もあったが、月一回のSVで話すことで癒され、先生や同期から多くのことを学び、諸先輩方の優しさに助けられた。特に同期との絆は大きな力になった。感謝しかない。ときに、掛け手から感謝の言葉をいただくことがあり、継続の活力になった。これからも皆様の指導の下でできるだけ長く、電話を受けていきたいと思う。よろしくお祈りします。この度は相談員認定ありがとうございました。

S・T

今年より認定を受け、相談員として活動するにあたり大きな責任を感じております。5月28日に川崎殺傷事件が発生したことから、いのちの電話の活動の重要性をより実感しているからです。私は、実際に相談員として電話を取るなかで、寂しい気持ちでいる人を一人でも減らしたいと思うようになりました。それは、いのちの電話以外の家庭や学校や職場、すべてのコミュニティでそうであってほしいと思います。川崎殺傷事件の犯人は、事件現場で自殺をし、どんな苦しみを抱え、なぜ犯行におよんだのかを検証することはできません。しかし、孤独な心を抱えた人が社会に対して発信したことを私たちは深刻に受け止める必要があると思います。死傷者を出して自殺をした犯人に、「死にたいのなら一人で死んで欲しい」という声が多かったようですが、何人の命を巻き添えに自殺を図ったとしても、孤独であることには変わらないと思います。だから私はこの世の中を生きる一員として、寂しい気持ちでいる人をいのちの電話の活動を通してなくしてゆきたいと思います。



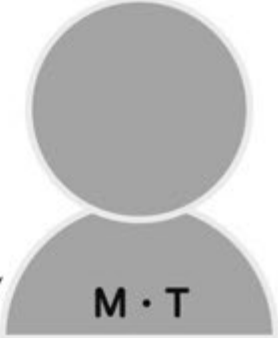
M・A



M・S

私は今まで自分という人間は、ざっくり言うと「続かない人」と思っていました。仕事、人間関係、趣味、合わないと感じたら決断は早かった。よく言えば神経細やかで真面目、わるく言えば、打たれ弱い根性なし。そんな私が二年の研修期間を経て、なんとか無事、相談員になることができました。我慢強く導いてくださった先生方、温かく見守っていただいた先輩方、お互いに励まし元気づけてくれる同期の仲間たち。皆様のおかげで私はいろいろな意味で成長することができました。本当にありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。

今回、相談員の認定を受けることができました。この二年間、お支えをいただいた方々に厚く感謝申し上げます。思えば三年前、熊本地震に被災し、少しでも役に立てばと災害ボランティアに参加し、支えられているのは実は自分自身だと気づきました。その頃、同僚から「いのちの電話相談員」の話聞き、市民ホールでの説明会に行き、研修を受ける運びになりました。この二年間は、自殺予防に関する研修を受け、今までの人生と重ね合わせながら豊かな学びをしました。研修会があることを毎回楽しみに参加しました。先日、県外にいる母と電話で話したら、「最近、話し方がやわらかくなった」と言われました。研修で学んだ知識や掛け手との出会いがあったからだと思います。二年間支えあった34期の仲間との出会いも私の人生にとってかけがえのないものになりました。これから迷惑をかけることも多くあると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。



M・T



N・U

二年前に受講し、晴れて認定していただきありがとうございます。とてもほっとしています。朝のテレビで「いのちの電話」の特集があり、相談員が不足していることを知りました。すぐに心は決まりました。何か人のお役に立てることができればいいなと思っています。同期の仲間は少数となりましたが、絆で結ばれており特別な仲間です。実際に電話を受けることで様々な有り様を知ることができ、自分の生き方を考える機会をいただいていると思います。共感しながら辛い思いを共有し、日々過ごしてもらえるといいなと思います。ここに来なければ知り得なかった人生の機微を学びながら、これからも「いのちの電話」と共に歩んでいきたいと思っています。人は人に繋がっていることを実感しながら。

電話相談員養成講座説明会を開催

2019年度の電話相談員養成講座の開催に先立ち3月29日(金)、30日(土)、31日(日)の3日間、事前説明会を熊本市市民会館2階会議室で開催しました。

いのちの電話活動の映像も資料も分かりやすく、入念に準備をして望みました。

アンケートを見ると「いのちの電話」を全く知らなかった方もおられ、強い関心を持って下さったことはとても嬉しいことでした。

質問には、養成講座の場所や日程、相談員になるまでの流れなどの質問がありました。また「どのような相談が多いのか」「死にたい」と言われたら・・・と、「いのち」という印象から受ける不安を質問されました。日頃の小さな悩みが引き起こす不安や悲しみ、怒りなどを話すことによって安心していただく、その聴き方を練習します。」と説明しました。

3日間で18名の参加があり、そのうち7名の方が第36期相談員養成講座の受講申込をされました。

第36期生 電話相談員 電話相談員養成講座始まりました

2019年、令和元年の5月7日(火)熊本YMCAに於いて、男性4名、女性12名、計16名の受講生を迎え、開講式が開催されました。

福田理事長より、現在の日本は自殺者数が減ったとはいえ、まだ自殺大国であり、自殺を一步踏みとどまっていただく機関としての役割を担っていただきたい、と受講していただくことへの感謝と歓迎、そして激励の言葉を述べられました。

後藤研修委員長からも、養成講座を有意義な講座にして、皆さんが相談員になられることを支援していきます。と決意を述べられました。

式典の後、池田研修副委員長より、「いのちの電話の歴史と現状」について講座があり、皆さん熱心にメモを取りながら、耳を傾けていました。





養成講座
受講者の声

K・Y氏

わたしは今回「電話相談員養成講座」に参加を決めました。実は「いのちの電話」を知ったのは今から五年程前のことです。微力でも人の役に立つ人生を歩めたらという思いが芽生えたのですが、一歩を踏み出す勇気が無く、いつしか記憶の片隅に追いやっていました。ところが今回再び新聞記事で拝見し、講座受講生を募集しているとのこと。今回の巡り合わせには背を向けまいと思い、チャレンジすることを決めました。いざ講座が始まると、その内容の面白さにどっぷりと浸ってしまいました。人には本当にいろいろな考えや思いがあることを再認識しました。その生い立ちや環境が影響することも分かってきました。今では次の講座までが待ち遠しい状況です。最終的に行う相談員は、軽々しい気持ちではできないことですが、そのために必要となる知識や技術は、引き続き楽しみながら学びたいと思います。受講生の仲間と共に研鑽し続けたいと思います。

J・Y氏

人生の大きなキーワードは“出会い”ではないだろうか。いろいろな出会いにより、自分は成長してきたように思う。ただ、自分の価値観が人よりも偏ったものに思え、多様な価値観を学びたいと思って、この講座の受講を決めたが、自己理解が進むうちに、自分の価値観というものはそう簡単には揺るがないものであり、また、「そんな自分のありのままが良いのだ」「どんな価値観もありなのだ」ということを学びつつある。対人的には、いろいろな選択肢が増えて傾聴というスキルも学び、いろいろな人との出逢いで、自分の人生が豊かなものになれば良いと思う。
40数年前に、私の心の隙間を埋めてくださった“いのちの電話”の相談員さんのように、今度は私が電話相談員として、孤独を抱える人からの心の声に寄り添えるような相談員になれたらと心から願っている。

Y・T氏

最近、火曜日が待ち遠しくなっています。毎週火曜日に行われている養成講座が楽しみなのです。今度の講座ではどんな話が聞けるのだろう。どんなことを学べるのだろう。そして何よりも、同じ講座を受けている仲間たちと会えることが嬉しいのです。この仲間たちになら自分の内面を隠さなくてもいい。この講座の場なら秘密を打ち明けられる。そんな信頼感が生まれてきています。それは、講師や職員の方々の「あなたの思いを聞かせてください。私は必ずあなたを受け入れます」という思いが、講座の場ににじみ出ているからです。お互いの意見や秘めた思いを聴き合う中で、時には笑い合い、時には涙し合う。この場には温かさがあります。この温かさが、いつか電話の向こうの誰かに伝わってくれることを願いながら、受講生一同学びを深めています。

R・T氏

人が好き。人が幸せに笑っている姿が大好き。自分の声を通して電話を掛けてきてくださった方が笑顔になってくれたら、それはとても尊いこと、と思い受講を決意しました。5月から5回の授業を受けましたが学びは、毎回「はっ」とさせられることばかりで、「今までの自分の中の人間理解とは、次元が違うなあ」と授業の度、実感しています。これまで相談を受けると善悪でジャッジしたり、自分の価値観で問題解決してあげようと躍起になっていました。いのちの電話の授業は、相手を丸ごと受容し、しっかりと話を傾聴し、心からの共感の大切さを毎回丁寧に教えてくださいます。ここでの学びは、今までの自分を意識改革することになるのですが、違和感などなく素直に自分自身にしみこみ、メンタルにとっても良い影響を与えています。すてきな先生方、仲間に出会えたこのご縁や、学べることに感謝して、2年後、温かい気持ちで心に寄り添える相談員になれるよう日々を大切に精進して参ります。

第20回 熊本いのちの電話・チャリティ公演
華の熊本 城下町めぐり

2019/8/17(土)

会場 くまもと森都心プラザホール

開場 13:00 開演 13:30

お問い合わせ Tel 096-354-4343 熊本いのちの電話事務局

入場料
2,000円

社会福祉法人 熊本いのちの電話 2019年度 役員名簿

今年度の役員のご紹介です。
理事会・評議員会の会議出席をはじめとして、維持会員の拡大、広報活動、またチャリティ事業へのご協力など様々な分野をご担当頂いています。

2019年(令和元年)6月1日現在

役職	氏名	勤務先・職業	役職	氏名	勤務先・職業
理事長	福田 稠	医療法人社団愛育会 福田病院理事長	評議員	悦 正治	社会福祉法人 同胞友愛会 監事
理事	赤星 敦	社会福祉法人熊本いのちの電話 事務局長	評議員	大橋 善治	(名)大橋時計店 代表社員
理事	後藤 秀昭	社会福祉法人熊本いのちの電話 研修委員長	評議員	岡 成也	熊本YMCA総主事
理事	池田 幸蔵	不動産・損害保険 池田事務所代表	評議員	小笠原嘉祐	特定医療法人社団ピネル会 ピネル記念病院 理事長
理事	堤 弘雄	一般社団法人夢ネットはちどり代表理事/法務省 人権擁護委員	評議員	平島 有希	アステル法律事務所 弁護士
理事	榑 政彦	(株)エービーシー 社長 広報委員長	評議員	元田 克秋	(一社)全国労働保険事務組合連合会 熊本支部会長
理事	藤谷 裕子	ピアノ教師 熊本いのちの電話研修委員	評議員	吉村圭四郎	瑞鷹(株) 代表取締役副社長
監事	大村 豊	大村豊法律事務所所長 弁護士	評議員連任・解任委員	西嶋 公一	オフィス・ムジカ 代表
監事	中村 孝彦	中村孝彦税理士事務所 税理士	評議員連任・解任委員	日野 充裕	熊本YMCA 総務人事部長
評議員	出田 信行	大熊本証券 代表取締役会長	評議員連任・解任委員	大村 豊	大村豊法律事務所所長 弁護士
評議員	井原 宏	熊本トヨタ自動車(株) 代表取締役社長	評議員連任・解任委員	池田 菖子	熊本いのちの電話事務局職員
評議員	浦川 務	カトリック健康教会 神父			

電話相談 ボランティアの お誘い

あなたの「声」を「熊本いのちの電話」のボランティアに生かしてみませんか。顔の見えない相談者の苦しみ、悲しみに、あなたの手のぬくもりを「声」に添えて届ける仲間になりませんか。詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。

いのちの電話に皆さまのご支援をおねがいいたします

(個人サポート会員・法人サポート会員・随時支援金という形で、どなたでもいつでもご支援いただけます。)
※「社会福祉法人 熊本いのちの電話」への寄付には、税法上の寄付金控除が受けられます。

個人サポート会員：年間 2,000円 3,000円 5,000円
法人サポート会員：年額 1万円 3万円 5万円
随時支援金：時期・金額は随意です。

振込先

口座名/社会福祉法人 熊本いのちの電話
郵便振替 01910-8-11836
銀行振込 肥後銀行 水道町支店 (普)1271746
熊本銀行 下通支店 (普)2122553
熊本第一信用金庫 本店 (普)1202685

編集 後記

熊本いのちの電話が生まれて34年。遠くの人への通信機器は黒電話から携帯電話、更にコンピュータ化したスマホへ。伝えたいことは通話だけの世界から、手元で簡単に静止画、動画のやり取りやメッセージ交換ができ、それが“普通”になった。情報伝達もマスから個人に個別に到達するようになり、コミュニケーションも年代や性別、使い方の多様性の陰で人との繋がり方も変化した。しかし、人対人、という関係は変わらないし、悩んだら、人と人との間で“自分を伝えたい”ニーズはなくなる。寧ろ、多様性の中で感じる孤独がそれを複雑にしているようにも思う。電話と文字、伝える手段が違って、伝えたい思いは同じなのだろう。

事務局日誌

平成31年 4月～ 令和元年6月

平成31年 4月	3日 熊本ロータリークラブ贈呈式 16日 共同募金配分式 21日 イオン黄色いレシートキャンペーン贈呈式(イオン熊本中央店)
令和元年 5月	7日 第36期電話相談員養成講座開講式 16日 理事会 24日 日本いのちの電話連盟社員総会 25日 日本いのちの電話連盟事務局長研修会
6月	*インターネット相談開始 20日 評議員会、理事会 30日 開局34年記念会・相談員認定式・全体研修会

毎月10日 フリーダイヤル(08:00～11日08:00まで)

毎月第1木曜日 定例研修委員会、第2金曜日 定例運営委員会



社会福祉法人 熊本いのちの電話
事務局

〒860-8691 熊本中央郵便局私書箱155号
TEL096-354-4343

発行人:福田 稠 編集:広報委員会

熊本いのちの電話 検索

赤い羽根共同募金配分金により作成したものです。